

前期の科目終了時アンケート結果は[コチラ](#)から参照ください。

科目コード:11405

授業科目名	担当教員名	履修区分	配当 年次	開講期	単位	DP対応
ダイバーシティとインクルージョン	塚原月子	G:選必 D:選必	1	春	1	準備中
科目概要						
ダイバーシティとインクルージョンの本質について、ダイバーシティの様々な側面や国際的に検証されたビジネスや組織に与える影響などを踏まえて学ぶとともに、ダイバーシティ推進の成果、インクルージョンの果実を得るための個人の行動変革、組織マネジメントのあり方について学ぶ。						

	必須	推奨
事前学習科目		
事後学習科目		

学びの目的とゴール

近年、グローバルでのダイバーシティ&インクルージョンに対するニーズは広がりと深化を見せており、その視点は人権、サステナビリティ、コーポレートブランディング、人材開発・育成、組織開発など多角的である。一方、日本の組織では、女性活躍推進や障がい者雇用促進など、法令順守のための取り組みは勧められてきたものの、上記のような様々な視点が十分考慮されないままグローバル潮流に表面追随する形で、女性活躍はもう古いのでダイバーシティとインクルージョンに看板を掛けかえるといった動きがみられることが多いのも否めず、結果的にグローバルと相対的に見た際の成果は、いずれのダイバーシティ領域においても十分とはいえない状況にある。

本科目では、ダイバーシティとインクルージョンの本質を理解し、個人としてまたは組織として、成果につながる変革に寄与できる方策を身につけることを最終ゴールとする。

具体的な達成目標は以下のとおりとする。

- ・ダイバーシティとインクルージョンの本質的な意味とビジネスや組織に与える影響を理解する
- ・自他における無意識の偏見の発現とその影響について理解し、それをマネジメントする方策を知る
- ・マイクロアグレッション(日常における些細な疎外的言動)について理解し、それらを防止する方策を知る
- ・インクルーシブリーダーシップについて理解し、自らのリーダーシップの特徴に合わせて用いることができる
- ・D&Iを推進する際に必要となる組織構造的な要諦を理解する
- ・日本におけるジェンダーダイバーシティの立ち位置と意味を理解する
- ・マジョリティの特権を理解する
- ・D&Iに関する学びを自らのキャリア、職務における実践的なネクストステップに反映できる

評価の観点	評価割合	評価の方法
平常点	10%	受講認証を参考に、総合的に評価する。
課題	50%	ディスカッション課題:エアキャンパス上に以下を投稿 ①新規投稿:自分なりの気づき、学び ②返信投稿:クラスメートとの対話
最終課題	40%	最終課題の提出状況と内容を評価する。 現在(または直近で)所属している(していた)組織(またはコミュニティ)において、あなたがCDIO(チーフD&Iオフィサー)になったとします。①あなたが描くD&Iビジョン、②現状の課題認識、③取るべきアクション(優先順位の高いものから3-5事項程度)を教えてください。

担当教員からのフィードバック方法
・レポートへコメントする

教科書	なし
-----	----

参考図書	なし
------	----

教員紹介
塚原 月子 非常勤講師 様々な組織におけるダイバーシティとインクルージョン推進を支援するアドバイザー・コンサルティングを専門とする株式会社カレイディストを2018年に設立、現在、同社代表取締役。2019年G20大阪首脳宣言に基づき立ち上げられたG20 EMPOWER(経済・ビジネスにおける主要な役割を担う女性の増加とエンパワーメント達成のための民間セクターのアライアンス)の日本共同代表。

回数	学習内容	学習課題
1	イントロダクション ゲスト: 宇田左近先生	・なぜダイバーシティとインクルージョンを学ぶことが必要か ・ 経営者へのメッセージ ・ 一般個人へのメッセージ
2	ダイバーシティとインクルージョンとは ダイバーシティとインクルージョンの重要性	・ ダイバーシティとインクルージョンの違い ・ インクルージョンを構成する要素 ・ EqualityとEquityの違い ・ダイバーシティとインクルージョンを重視する世界的潮流 ・ ビジネスや組織にとっての便益
3	ダイバーシティとインクルージョンの実現に向けて(1)個人のふるまいを変える	・無意識の偏見に気づきをもちマネジする ・日常的な言動をインクルーシブに ・ インクルーシブリーダーシップを体現する
4	ダイバーシティとインクルージョンの実現に向けて(2)構造や仕組みを変える	・ ビジョンと現状とのギャップを把握する ・ 測定管理とアカウンタビリティ ・ 評価の視点や基準への反映 ・ 柔軟な働き方
5	ジェンダーダイバーシティ(ディープダイブ) ゲスト: アキレス美知子さん	・ 日本の組織がジェンダーダイバーシティを追求することの意味 ・ キャリア推進における女性の内外のカベ ・ グローバルとの彼我比較 ・ 意思決定層への女性参画に向けて

6	インターセクショナルリティ	・ 個人の中の多様な属性・特徴 ・ 自分の中のマイノリティ性 ・ 特権: マジョリティとマイノリティの経験格差 ・ マイノリティ性に向き合うチェンジリーダー
7	事例研究(テクノロジーとD&I) ゲスト: D&I先進事例を持つIT系企業より	・ 国内におけるダイバーシティとインクルージョン先進事例に学ぶ ・ 特に、テクノロジーの活用も通じて、個人の特徴・属性にかかわらずインクルージョンを実現している事例を取り上げる
8	まとめ(D&Iの学びを素養で終わらせないために)	・ D&I Practitionerに対するニーズは高まっている(CDO、グローバルD&Iヘッド、エグゼクティブコーチ、サステナビリティ・ESGリーダー、コーポレートブランディング・PR...) ・ 自らのキャリア・職務にどのように活かすかアクションプランを作成

※開講や課題出題のスケジュールは、別途配布している配信スケジュールを確認してください。

受講上の注意
以下を了承し、実践ベースで学習に取り組むことを、履修条件とします。 ・ 発言 & ディスカッションは、ディスカッションテーマに基づいて進めます。 ※単位認定には、顔認証による本人確認が必要です。 ※学修内容の詳細や順序が変更の可能性があります。